

# 中川接骨院だより

2024年 11月1日発行 第237号

## 自分の“性別”への違和感はなぜ起こるのか？



性同一性障害——これは、自身の「性認識＝ジェンダー」が、生物学的な性別と一致しない状態だと言います。本人は自分が女性だと認識しているが身体は男性、あるいは本人の性認識は男性だが身体は女性、というケースです。

いずれの場合も、自己認識と現実の性とのギャップに強烈な違和感が生れ、特に思春期以降、本人は非常に苦しい思いをします。

なぜ性に関する自己認識が、身体の実体と食い違ってしまうのでしょうか。生物学的な要因や、育った環境や社会学的な要因など、いくつもの説が出ていますが、いまだに明確な答えは出ていません。

諸説ある中、生物学的な要因としては、脳の性差が決定する際に何らかのトラブルが起きているという説が有力です。

人間は身体と同じように、脳にも男女によって性差が見られます。例えば視床下部も性差が見られる部位の一つです。視床下部は、ホルモンの調節や、怒りや快感などの情動に深く関わっています。この部位のある特定の神経細胞群の数を数えると、女性に比べて男性のほうが多いのです。



そこで、性同一性障害で男性から女性に性転換した人を調べてみると、その細胞群の数が少なく、女性の細胞数に近かったといいます。つまり、彼らは「脳が女性だった」と考えられるのです。

脳の性差が決定するのは胎児の時期です。じつは人間の原型は女性であり、最初のうち胎児の脳は全て女性脳。それが母胎で適切な時期に適切な量の男性ホルモンの影響を受けると、男性脳に変化するとされています。

もし母体や胎児自身のホルモン調節がうまくいかないと、男性なのに脳が男性化しなかったり、逆に女性なのに脳だけ男性化してしまったりするのではないかと考えられています。

現実には原因は一つではなく、他の条件も絡んでくるようですが、少なくとも胎児の時点から、脳という臓器がつねに性ホルモンの強い影響を受けることは確かなようです。

「人体の不思議」博学こだわり倶楽部から引用

## 漢字を完成させます



隠れている部首を入れて

熟語を完成します。

## 当院での症例 帯状疱疹(ヘルペス)

高岡市在住 S.Yさん 31歳男性

### 【問診】

一週間前、起床時に急に背中に痛みが発生する。前日の使い過ぎによる筋肉の疲労と自己判断しシップを貼付するが、徐々に脇から胸にかけての痛みが増してきたため来院。

### 【検査】

原因が不明で痛みが背中から胸にかけての痛みに広がってきたのと、皮膚に疱疹が出現していた為(患者はシップ剤のかぶれと勘違い)ヘルペスの疑い有、直ちに皮膚科へ紹介、ヘルペスと診断される。

### 【考察】

60歳代を中心に50歳代～70歳代に多くみられ、過労やストレスが引き金で若い人に発症することも珍しくありません。神経に沿って帯状に赤い発疹と水ぶくれが出現し、疼痛を伴います。前兆として、だいたい1週間くらい前から、違和感やぴりぴりした痛みを感じることもあります。

早期の抗ウイルス薬の治療が、必要で治療が遅れると、神経痛や感染部位によりマヒを起こす後遺症もありますので、自己判断せずに専門医の受診が必要です。



## 接骨院での治療の利点(手術を伴わない骨折)

☆入院しなくても治療可能 ☆毎日、経過の観察が出来る(インフォームドコンセント)

☆親切、丁寧、治療費が病院に比べビックリするほど格段に安い。

(具体的な治療法と負担金額などはお尋ねください)

早期の治療は関節を元の状態に戻し、後遺症を残さないためにも重要です。

急性の外傷、疲労等による腰痛、肩こり、O脚、骨盤矯正には**カイロ治療**が効果的です。

カイロ治療は、真の原因をさぐり全身的な治療を施します。

初診料(検査) 2,200円

治療料 4,400円

回数券 [5回券] 21,000円

回数券 [10回券] 36,000円

回数券は家族の方もご使用できます。 但し初診料(検査) 2,200円は別途必要です

### 編集後記

27日に利賀村で開催された"新そば祭り"へ妻と行ってきました。会場の利賀国際キャンプ場へは初めて行く場所で、ナビを頼りに小牧ダムを目指しそこから国道471号線で利賀村まで走ります。途中、道幅が狭くなりこの道で間違っていないかと不安になりましたが"そば祭り"へ向かうのではと思われる車の後ろを走り目的地に到着山の頂は少し色づいていましたが紅葉には少し早いようでしたね。

会場では、特設ステージで様々な催しと特産品の販売があり、その中をかいぐりながら約1時間の行列で"新そば"を食べることが出来ました。

北日本新聞に記事が載っていた影響か、大勢の人で賑わっていました。....(^^)/

### 診療時間の案内

平日 午前8時30分～午後12時00分 午後3時00分頃～午後7時

土曜日 午前8時30分～午後12時00分 日曜・祝日は休診 受付は終了30分前

自由診療 随時受付 TEL26-5755

熟語の答え

沈没 紡績 地域

